



会長 菅原文之
 幹事 佐々木源悦
 会報 佐々木崇光 佐藤静市
 高橋利光 渡辺光悦
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2340回例会 2012. 2. 23 No.31

本日の出席率

- ・本日の出席率 100%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 佐藤幸一会員のスピーチを歓迎して。2月19日、仙台泉RC創立40周年記念式典に出席された会員ご苦労様でした。飯塚仁哉会員の元気な顔を見て安心致しました。
- ・阿部泰彦会員 佐藤幸一会員のスピーチに期待して。2月25日(土)南三陸町復興名店街がいよいよオープンです。皆様是非ご来店、励ましてやって下さい。
- ・猪股育夫会員 先週は、優良従業員表彰お世話になりました。
- ・遠藤光則会員 佐藤幸一会員のスピーチに期待します。氏家良典会員の岩出山新店舗、本日開店おめでとうございます。
- ・佐藤幸一会員 今日は私のスピーチです。我慢して聞いて下さい。宜しくお願い致します。
- ・鈴木彦太会員 佐藤幸一P・Pの名スピーチに期待。
- ・飯塚仁哉会員 新撰組の旗印「誠」一筋70年、その名は佐藤の幸一っあん。
- ・菅野幸一郎会員 2月20日付の河北新報に、米国から訪問団の記事が載っていましたのでご覧下さい。本日、3月11日台北訪問団の打ち合わせ会を例会終了後行いますので、お集まり下さい。
- ・高田次雄会員 三寒四温、ゆっくりとですが春が近づいて来ております。又、日脚が伸び行動範囲が広がり、何かと楽しみが多くなりそうです。
- ・長沼盛雄会員 昨日は、いい夫婦の日でした。皆様奥様と仲良く感謝の気持で過ごした事と思います。本日の佐藤幸一会員のスピーチ楽しみです。
- ・佐々木源悦幹事以下 佐藤幸一会員のスピーチに期待します。

- 布施孝之会員 村上武彦会員 佐々木崇会員
 - 八谷郁夫会員 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員
 - 山田直志会員 佐竹孝行会員 二階堂學会員
 - 阿部賢悟会員 佐藤静市会員 岩渕正彦会員
 - 熊谷敏明会員 佐々木功一会員 高橋利光会員
 - 山田正会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 - 只野佳旦会員 高橋義文会員 秋山茂夫会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会長

今日は佐藤幸一会員のスピーチです。佐藤幸一会員は、政治、経済に通じ登米市の中で常に重き役職を全うしているお姿は、尊敬に値すると常々思っております。私が17年前に遠藤光則副会長、佐藤静市会員と共に10月にロータリークラブに入会しました。丁度その年が創立30周年に当たり、佐藤幸一会員が会長職、伊藤賛元会員が幹事職でありました。

迫地区に知人、友人のなかった私は大変心細い思いをしていたロータリー生活であったのを覚えています。当時、会長でありました佐藤幸一会員は、私にとっては雲の上の一人でもありました。今思えば私はあの様な会長になっているのかと自問自答すると、非常に恥ずかしい思いがいたします。比較すること自体がおかしいのですが、山本五十六が連合艦隊司令長官として真珠湾攻撃を実施して戦死をした時の年齢が56歳であったとのことでした。因に私は今64歳であります。

2月19日(日)、仙台泉RC創立40周年記念式典が江陽グランドホテルにて執り行われ、当クラブからも4人で出席して参りました。仙台地区なので出席者数は大変多く会場一杯でした。特段感じたこともない周年事業でしたが、司会者がガバナーの名前を間違えたり、菅野多利夫元RI理事に挨拶のお願いがないとかで、挨拶の中で苦情等を言われるのは、ちょっと準備の周到さに欠けると思われ、少々残念に思いました。私達も、次週4クラブ合同例会がありますが、そういったことにも気を付けたいと思います。

幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・小野寺則雄ガバナーエレクトより
会長エレクト研修セミナーの案内
日時 3月18日(日) 10:30~
場所 二戸ロイヤルパレス
登録料 10,000円
- ・次週2月28日(火)は4クラブ合同例会です。3月1日(木)の例会は休会となります。お間違いない様に。

各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会 (高橋義文委員長)
ポリオ撲滅運動の寄付にご協力いただいております。3月のロータリーレートは1ドル=78円です。まだの会員はこ機会にお願い致します。
- ・長期留学生担当特別委員会 (千葉吉男委員)
私のところで預かっておりますレイチェルさんは、2月19日に森田一史会員宅に移る予定でしたが、スキーに行きたいということで一週間延長しました。2月26日に引越しますので、よろしくお願い致します。
- ・プログラム委員会 (阿部賢悟委員長)
例会変更のお知らせ
2月28日(火) 4クラブ合同例会 (18:30~)
於：築館グランドプラザ浦島
3月1日(木) 休会
3月29日(木) 公開夜間例会→通常例会
環境保全委員会フォーラム
- ・姉妹クラブ委員会 (高橋義文副委員長)
本日、例会終了後訪台の説明会をもちますので、参加者はお集まり下さい。

今週のスピーチ

佐藤幸一会員

私は、昨年11月25日をもって社長職を、常務をやっておりました息子に譲り会長職についたばかりです。53年間社長職をやっておりましたので、会長職というのにとまどっているのが現在の状況でございます。

会長とはどうあるべきかということについては、全然経験もなく、会長を経験された方の本を読んだりしましたが、やはり同じ様に会長をされた方の真似をすることも出来ませんし、そのおかれた立場立場によって違うのではないかと、私は私なりの考えで会長職をやるしかないと思った次第です。

今年で77歳になり、喜寿を迎えたのですが、ほんとうはもっと早く社長職を譲る気持でございました。実は75歳になった時譲ると決めておりましたが、もう一期何とか延ばしてほしいというのが息子の考えで、75歳、77歳というのには何の根拠はございませんで、まだ比較的元気でやっているということをも多分息子が感じており、一期2年位はやらしていいのではないかと、そのような感じではないかと思ったりしております。

やはり、中小企業にとっては後継者を得る、探すということはなかなか出来ず、経営上一番難しい問題だと思っております。中小企業は、ひと皮むけば個人経営と同じ内容ですので、その中で社長を譲る、あるいは社長の後継者を見つけるという時、身内からが一番無難だというのは当たり前の話ですが、ただその身内なるものがうまく育っていると問題ないと思うので

すが、私の息子も問題ないと言えるかどうか分かりませんが、後継者を見つけるということは中小企業にとって一番の経営上の問題点であります。後継者をいかに育てていくか、もし、いなければ誰かを見つけていかなければならないということになりますので、その辺は心して人材育成に務めるべきだと思います。しかし、言うのは易しいのですが実際は難しいことです。ですから、中小企業にとってはどちらかと言うと個人経営、オーナー経営に近いものですから、やはり身内以外の人を連れて来ると言うのは難しい問題を含んでおりますので、この辺は世襲で社長職をつないでいくというのが無難です。しかし、今の時代では息子たりとも会社を継ぐとか、親の職業を継いでいくというようなことは、なかなか難しくなっております。どうやって後継者を育てるか、あるいはつないでゆくかということが、我々社長に課された一番の課題だと思っております。幸い、私も何とか息子を社長にさせましたので、後は本人の自覚と努力しかないと言っております。我々は側面から色々なアドバイスをしながら、社長をフォローしながらやっていこうと考えております。

私供の会社は誰がやっても経営出来るという状態ではありませんが、まずまずの状況で推移しておりますので、当面は何とかやっていけるのではないかと、いう状況にありますので、一応我々のかつての時代よりやりやすいのではないかと、思っております。

私の親父は7歳の時に死亡しましたので、大学を終わって直ぐに社長職に就きましたので、53年間社長をやっておりました。従って、下から這い上がっての社長ではなく最初からその様な所にのっかってしまった社長ですので、いろんな面でもまれな中でそういった地位についたということが言えます。

今の時代の社長といえどもやはり、いろんな苦勞を経験した者でないと、上に立つということは難しいのではないかと思います。たまたま私は、学校が終わって10年経った頃、当社の6割を取り引きをお願いしていた商社が倒産したため、当社も倒産状態になりました。その時(昭和40年)の負債総額が約7千万円でした。その頃は今の世の中と違って人情があったのか、先ず債権者を廻って頭を下げ支払の延長をお願いしたり、銀行関係も元金の支払いを延ばしてもらい利子だけを払うなど、いろいろと頭を下げて歩き、7年間で7千万円を払うという計画を立てました。幸い、その後景気が好転し比較的早い段階で再建出来ました。5年間で完済することが出来ました。今言う債権放棄、何割カットということをする事なく、元金も払いましたし金利もつけて全部払いました。子々孫々まで再建についてとやかく言われたいよう、意地でも元利ともに払いました。お陰様でその後会社の業績も進展し、高度経済成長の時代にものりましました。たまたま色んな設備をしたことが良い方向に向かい東北でもトップの企業になることが出来ました。苦しい時代もありましたが、後から振り返って見ますと、その6年間は一瞬だったと思っております。そういう経験をさせてもらったことはありがたいと思っております。若い頃にそういう経験をしたことによって現在の私があるのだと感謝しております。「人間は若い頃に苦勞すべき」と思っています。